

大和証券株式会社

チーフ為替
ストラテジスト

今泉 光雄

第83回機関投資家セミナー

米大統領選に向けて相場を楽しむ ～筆者はトランプ大統領敗北予想。だから米景気は回復する～

景気を悪化させる大統領に二期目は無い！米株を下落させる大統領に二期目は無い！

トランプ米大統領は経済指標を上向かせるために、金に糸目は付けず、死に物狂いで、なり振り構わず、出来る事は何でもやってくる。なぜなら、1年以上前から大統領選での落選確実だから…

2020年7月9日

今泉予想

(4/1に下方修正)

2020年7-9月期の予想水準

ドル円 ↑	108円～114円	(従来 ↑ 110円～115円)
ユーロ円 ↑	118円～126円	(従来 ↑ 120円～130円)
米10年債利回り ↑	0.80%～1.15%	(従来 ↑ 2.00%～2.3%)

(ご注意ください)

米共和党員の方およびトランプ大統領ファンの方は、気分を害される可能性がありますので、本資料の閲覧を差し控えてください。



大和証券株式会社
金融市場調査部

チーフ為替ストラテジスト

今泉 光雄

(Mitsuo "Dave" Inaizumi)

COVID-19パンデミックで断念

Daiwa
Securities

自己紹介させて下さい

★座右の銘「驕る平家は久しからず」

1962年11月 北海道苫小牧市 生れ

1981年3月 北海道立苫小牧東高等学校 卒 (その後、代々木ゼミナール札幌校 第一期生・第二期生を経験して)

1987年3月 東京都国立市にある某大学 (法学部) 卒 (体育会アメリカン・フットボール部)

4月 **三井銀行花小金井支店 入行** (その後、目黒支店、人事企画部 を経て)

1992年10月 さくら銀行為替資金部 ←ここから私の為替業務が始まりました。

1997年9月 さくら銀行為替資金部 ニューヨーク室ジャパンデスク

(NY駐在中、セールスでしたが、日経金融アナリストランキング為替部門で3位を1回)

2001年4月 帰国して、三井住友銀行市場営業部配属

(ダイレクトディール担当部署にて輸出入企業、機関投資家を担当)

2003年2月 **大和証券SMBC 外貨債券部へ出向・転籍**

2007年5月 メリルリンチ日本証券(株) 外国為替部へ転籍

(2012年J-MONEY (日本版ユーロマネー誌) カスタマーディーラー部門2位、11年7位)

2013年6月 **大和証券 債券営業部プロダクトセールス課に転職**

2013年10月 新設の**外国為替部 外国為替営業推進課**に異動

2014年7月 **投資戦略部 情報課 チーフ為替ストラテジスト**

2019年 日経ヴェリタス
アナリストランキング為替部門 10位

2020年 日経ヴェリタス
アナリストランキング為替部門 8位

その他 2000年~2010年 モーニングサテライト 為替コメンテーター
他、Bloomberg TV、日経CNBCで為替コメンテーター BS12とかいろいろ



・モットー

「客に買わせる相場観ではなく、
お客様に勝って頂く相場観」
を目指したい

(ご参考)

・エコノミストとは？

“Economist”を日本語にそのまま訳すと「経済学者・佷約家・経済家・経済専門家」。

金融・経済の分野で、経済(主としてマクロ経済)に関する調査・分析・論評を担当する専門職。

・アナリストとは？

“Analyst”を日本語にそのまま訳すと「分析家・評論家」。

金融・経済の分野では、業界分析・企業分析の仕事に従事する専門職。各アナリストは自分の専門分野とする業界を有する。

山師とも
言われる

・ストラテジストとは？

“Strategist”を日本語にそのまま訳すと「策士・戦略家・兵法家」。

金融・経済の分野では、投資に関する戦略を考える専門家のこと。アナリストとも似ているが、アナリストが個別の株式や業種の調査・分析を行うのに対して、ストラテジストはアナリストの分析を元に、相場(投資)に関するアイデアや投資方法を考えるプロである。

ドル円の週足一目均衡表



	ドル円の予想	予想材料
2019年 10-12月期	<p>予想110円~115円 6月修正した予想107円~112円↑ 確定106.48~109.73</p>	<p>米中通商妥協 海外勢の益出し・損切り・合わせ切り（リパトリ）</p>
2020年 1-3月期	<p>予想109円~113円 2/10変更 予想108.5円~112円↓↑ 確定101.19~112.23</p> <p><u>COVID-19感染拡大を全く予測できませんでした。甘く見ていました。なめてかかっていた。情けない。</u></p>	<p>日本人の益出し・損切り・合わせ切り（リパトリ） 米中通商妥協→トランプ関税の縮小・撤廃へ ウォーレン・リスク・シナリオ??は不要となる。序盤のサンダース リスク警戒。 （米10年債利回りは2%台へ）←（2/10追記）COVID-19で断念 米12月雇用統計は要警戒（NFP悪化予想） （1/6追加）中東情勢緊迫化←どうせすぐに飽きる （2/10追加）COVID-19←4月の日米欧中経済指標まで尾を引く可能性 <u>ソフトデータが先に悪化→サプライチェーン問題</u></p>
4-6月期	<p>予想109円~113円↑ 4/1変更 予想106円~112円↓↑ 確定105.99~109.85</p>	<p>米企業景況感の改善（米10年債利回りは2%台） （4/1追加）COVID-19の影響が実体経済・経済指標・企業業績において顕在化 米中通商協議「第2段階」進展→合意 （4/1追加）トランプ大統領は国内政策に専念せざるを得ない。恫喝の減少。 （やっと、大統領職務らしい動きに） （4/1追加）原油価格の動向に左右される相場 格付け会社の動きに警戒（ローン等の大量格下げ等）</p>

	ドル円の予想	予想材料
<p>(4/17追記)</p> <p>COVID-19感染拡大の終息時期によって相場展開は変わらざるでしょう。筆者は4-6月期が感染拡大ピークと見て、以下の相場展開を予想。WHOや米民主党首脳、米民主党州知事をスケープゴートにすることによって、自身の初期対応の遅れを正当化するトランプ大統領。毎夕のCOVID-19に関する記者会見を、うまく選挙活動・宣伝に利用してプラス効果もある可能性。経済活動再開によって、COVID-19感染拡大第2波が襲ってきた場合は、見通しを修正。</p>		
7-9月期	<p>予想110円～115円↑</p> <p>4/1変更 予想108円～114円</p> <p>7/1変更 106.50円～113円↑</p>	<p>米企業景況感の改善 (米10年債利回りは2.0-2.3%)</p>
10-12月期	<p>予想110円～115円↓↑</p>	<p>11/3米大統領選に向けて「リスクオフ」TVコメント激増 (筆者は2018年11月からの「トランプ敗北予想」を継続中)</p> <p>結果がどっちに転んでも、11/3後に「踏み(ドル円買い戻し)」加速</p>
2021年 1-3月期	<p>予想110円～115円↓</p> <p>4/1変更 予想108円～113円↓</p>	<p>過剰流動性相場終焉議論・米財政赤字問題視→株式市場の調整</p> <p>FRBの経済・金利見通し上方修正。年央から出口戦略議論、一部で米利上げ観測 (先行きの観測だけ)</p> <p>トランプ大統領が再選した場合、<u>米中通商合意を破棄すると予想</u></p>
<p>(7/1追記)</p> <p>疫病について、筆者はド素人です。疫病は予想できません (〇月〇日、治療薬の無い疫病発生で、景気後退とか言えます?)</p> <p>2020年年末から2021年にかけて、再び新たな疫病あるいは強力になったCOVID-19がまん延した場合・・・</p> <p>もう先進国にはお金はありません。返すつもりのない財政赤字拡大?</p> <p>東京オリンピックは開催できますか?</p> <p>今回は救済で存続できた企業も、次回は救済されないかもしれません。</p>		

死者増加よりも11月までの米経済回復が大事なトランプ大統領。
かなり尻に火がついていると思料。今後は共和党員中心に感染者増加か？

米大統領選楽しむ

今泉は

11/3 (火) の2020年米大統領選で
トランプ氏敗北予想です
(2018年11月からの予想)

全く当てにならない全米ベースの世論調査（2016年）



RCP POLL AVERAGE

General Election: Trump vs. Clinton

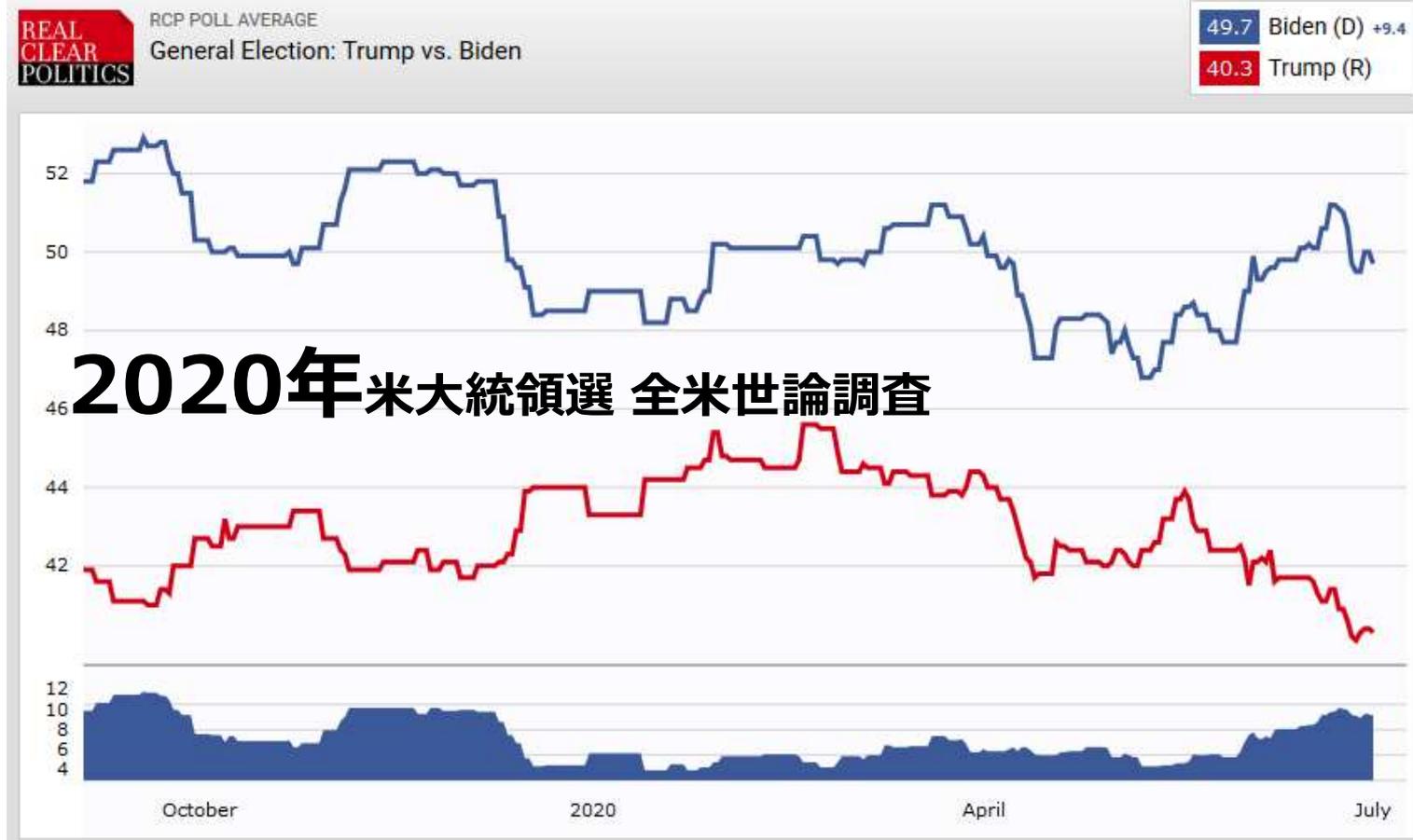
46.8 Clinton (D) +3.2

43.6 Trump (R)

2016年米大統領選の全米世論調査



全く当てにならない全米ベースの世論調査（2020年）



★米CNNが、5/31発表のABC News/Wash Post全米大統領選世論調査(バイデン氏53%vs.トランプ氏43%)に関して、興味深い記事を書いています。以下、抜粋です。

- トランプ氏かバイデン氏かを問う全米規模の世論調査は今月40件以上実施され、バイデン氏はその全てでトランプ氏を上回る支持を得ている。
- 大統領選の新人候補が5月時点の全調査で現職を上回ったのは、1976年のカーター氏以来初めて。同氏が当選したことは言うまでもない。
- 統計学に基づく世論調査は1930年代に始まったが、大統領選の年に毎月、各社による世論調査の平均支持率が現職を上回っているのはバイデン氏が史上初。

(出所) CNN日本の記事より大和証券作成

2016年米大統領選で僅差（10%未満）だった州

州名（選挙人の数）	2016年得票率（%）				
 アリゾナ州 (11)	Clinton 44.6	Trump 48.1	Johnson 4.1	Stein 1.3	
コロラド州 (9)	Clinton 48.2	Trump 43.3	Johnson 5.2	Stein 1.4	McMullin 1.0
 フロリダ州 (29)	Clinton 47.4	Trump 48.6	Johnson 2.2	Stein 0.7	
ジョージア州 (16)	Clinton 45.4	Trump 50.5	Johnson 3.0		
アイオワ州(6)	Clinton 41.7	Trump 51.2	Johnson 3.8	Stein 0.7	McMullin 0.8
メイン州 At Large (2)	Clinton 47.8	Trump 44.9	Johnson 5.1	Stein 1.9	
 ミシガン州 (16)	Clinton 47.0	Trump 47.3	Johnson 3.6	Stein 1.1	
ミネソタ州 (10)	Clinton 46.9	Trump 45.4	Johnson 3.9	Stein 1.3	McMullin 1.8
 ノースカロライナ州 (15)	Clinton 46.2	Trump 49.9	Johnson 2.7		
ネブラスカ州 District 2 (1)	Clinton 45.4	Trump 48.8	Johnson 4.6		
ニューハンプシャー州 (4)	Clinton 46.8	Trump 46.5	Johnson 4.1	Stein 0.9	
ニューメキシコ州(5)	Clinton 48.3	Trump 40.0	Johnson 9.3	Stein 1.2	McMullin 0.7
ネバダ州 (6)	Clinton 47.9	Trump 45.5	Johnson 3.3		
オハイオ州 (18)	Clinton 43.2	Trump 51.3		Stein 0.8	
 ペンシルベニア州 (20)	Clinton 47.5	Trump 48.2	Johnson 2.4	Stein 0.8	
テキサス州 (38)	Clinton 43.4	Trump 52.6	Johnson 3.2	Stein 0.8	
バージニア州 (13)	Clinton 49.8	Trump 44.4	Johnson 3.0	Stein 0.7	McMullin 1.4 (無所属)
 ウィスコンシン州 (10)	Clinton 46.5 (民主党)	Trump 47.2 (共和党)	Johnson 3.6 (リパタリアン党)	Stein 1.0 (アメリカ緑の党)	
全米合計（獲得選挙人の数）	48.2% (232人)	46.1% (306人)	3.3% (0)	1.0% (0)	0.4% (0)

過去の選挙より国民の関心が高い2020年大統領選挙

米シンクタンクのピュー・リサーチ・センター調査結果（2019年7月）

・ 2020年11月米大統領選挙への関心度

「とても、あるいはかなり関心がある」 **63%** ←
 （2011年7月調査結果 40%、2015年8月調査 54%）

・ 大統領候補について考えるか？

「よく考える」 **52%** ←
 （2011年7月調査 24%、2015年9月調査 46%）

関心度の高さ（投票者数の増加）はトランプ敗北への道

デブの トランプ敗北 予想州	2016年大統領選 トランプが勝利した 州	ヒラリー・クリントン 民主党			ドナルド・トランプ 共和党			投票者数の差
		投票者数 (人)	得票率 (%)	選挙人数	投票者数 (人)	得票率 (%)	選挙人数	
★	アリゾナ州	1,161,167	45.13%	-	1,252,401	48.67%	11	91,234
	フロリダ州	4,504,975	47.82%	-	4,617,886	49.02%	29	112,911
	ジョージア州	1,877,963	45.64%	-	2,089,104	50.77%	16	211,141
★	ミシガン州	2,268,839	47.27%	-	2,279,543	47.50%	16	10,704
	ノースカロライナ州	2,189,350	46.17%	-	2,362,697	49.83%	15	173,347
	オハイオ州	2,394,164	43.56%	-	2,841,005	51.69%	18	446,841
★	ペンシルベニア州	2,926,441	47.85%	-	2,970,733	48.58%	20	44,292
	テキサス州	3,877,868	43.24%	-	4,685,047	52.23%	38	807,179
★	ウィスコンシン州	1,382,536	46.45%	-	1,405,284	47.22%	10	22,748
	全米合計	65,844,954	48.04%	227	62,979,879	45.95%	304	

(出所) ニューヨーク・タイムズより大和証券作成

2016年 民主党予備選 投票者数 (人)	2020年 民主党予備選 投票者数 (人)	増減 (人)
466,235	536,509	70,274
1,709,183	1,739,214	30,031
765,366	918,074	152,708
1,205,552	1,587,679	382,127
1,142,916	1,332,382	189,466
1,241,478	894,383	-347,095
1,681,427	1,161,009	-520,418
1,435,895	2,094,428	658,533
1,007,600	630,198	-377,402

(注) 2020年の投票者数は最終値ではありません

(出所) The Green Papersより大和証券作成

ただし、ミレニアル世代の動向が気になる（投票行くの？）

★ミレニアル世代（ミレニアルズ、millennials）とは？

米国で、2000年代に成人あるいは社会人になった世代。1980年代から2000年代初頭までに生まれた人をいうことが多い。

2020年米大統領選挙では、**有権者全体の27%がミレニアル世代**となる。

★ミレニアル世代の関心事は

- ①環境問題（グローバル・ウォーミング）
- ②アクセスのしやすい医療保険制度の整備
- ③米財政問題（財政悪化の懸念、社会福祉制度の崩壊懸念、自分たちが恩恵を受けられなくなることへの不安）
- ④学資ローン負担

反トランプ

Zippia.com調査

ミレニアル世代にとって最悪の10の州/準州

コロンビア特別区（3）

ジョージア州（16）

ニューヨーク州（29）

フロリダ州（29）

ノースカロライナ州（15）

カリフォルニア州（55）

サウスカロライナ州（9）

アラバマ州（9）

ルイジアナ州（8）

ミシシッピ州（6）

対中トランプ関税により、米農家を敵に回したトランプ大統領

★2019年8月15日：Jbpress記事「**米大豆農家、過去最高の破産件数に**」

中西部を襲った長雨と洪水により穀物の作つけができなくなり、2019年6月末の段階で535件の農家の破産申請が出された。特にカンザス州、ウィスコンシン州、ミネソタ州が過去最高の破産件数を記録した。（堀田 佳男氏記事 ジャーナリスト）

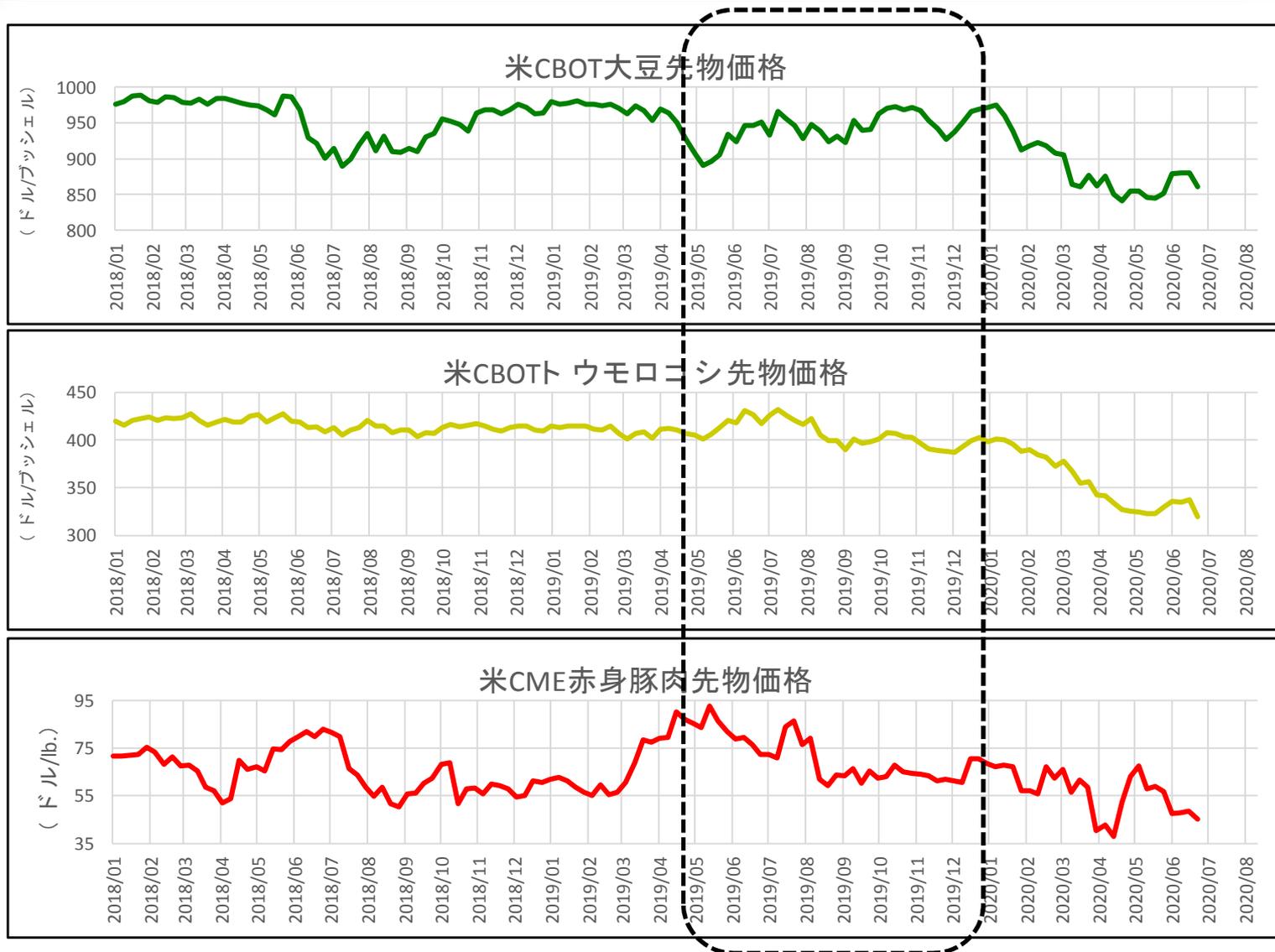
★2019年8月30日：Forbes記事 Amid Trump Tariffs, **Farm Bankruptcies And Suicides Rise**（**農家の破産と自殺が増えている**）



★2019年10月23日：Columbia Tribune紙 Trade war, weather, low prices increase farmer calls to Extension suicide hotline（**農家からの自殺相談電話が増加**）

★2019年11月3日：米Wポスト紙“I’m gonna lose everything’ A farm family struggles to recover after rising debt pushes a husband to suicide（**農家の主を自殺に追い込んでいる**）”（In farm country, mental health experts say they’re seeing more suicides as families endure the worst period for U.S. agriculture in decades. Farm bankruptcies and loan delinquencies are rising, calamitous weather events are ruining crops, and profits are vanishing during Trump’s global trade disputes.）

米農作物の価格低下はトランプ大統領にとってアゲインストの風



トランプ自伝“The Art of the Deal”のゴーストライター

トニー・シュウォーツ氏が

2017年にWポスト・週刊現代の取材を受けて、ドナルド・トランプ氏を語っている。

- ・自分が虐げられたと思うと、彼は衝動的にかたくなな態度をとり、他人を非難する。常に事実を無視し、自分弁護的な言い訳を作ろうとする。
- ・相手を支配するか、それとも自分が服従することになるのか。彼はいつも二者択一またはゼロ・サム的な選択を続けている。
- ・彼はとにかく他人を支配することばかり追い求めて人生を送ってきた。そして、そのために必要なものも、あるいは副作用も、いっさい気にしなかった。
- ・彼の成長は本質的には幼少期で終わっている。まるで教室でじっとしてられない幼稚園児。

- ・その場で考えた作り話を押しつけ、しかもすぐ内容を変える。
- ・彼は挑発されると、自分が言ったばかりのことが明らかに間違っている場合でも、本能的に危険な賭けに出る。つまり平気でウソをつく。
- ・知的水準の低さは驚くべきもので、情報源はテレビ、彼が本を読んでいるところも、自宅やオフィスに本を見たこともない。
- ・トランプ大統領は周りにウォールストリート関係者を多数置いているから、政権下でインサイダー取り引きや相場操縦が行われる可能性を危惧する声まである。

英エコノミスト紙/ユーガブ共同世論調査 (2019年7月27日~30日実施)

ドナルド・トランプ氏の言動の印象(単位:%)

質問事項	印象	構成比
同氏のイデオロギーについて	自由主義的	7
	中道的	15
	保守的	49
人としての同氏について	好ましい	32
	好ましくない	48
	どちらともいえない	13
同氏の正直さについて	正直である、信頼できる	30
	正直でない、信頼できない	55
	わからない	15
同氏の気質は大統領に向いているか	向いている	35
	向いてない	54
	わからない	12
国際問題にうまく対処しているか	対処している	35
	対処していない	53
	わからない	11
同氏は戦争に向かおうとしているか	思う	47
	思わない	35
	わからない	19
同氏のツイッターでの発言は大統領として適切か	適切	26
	不適切	60
	わからない	15
同氏の再選に向けての立候補を望むか	望む	37
	望まない	50
	わからない	13

本資料は、当社が信頼できると判断した情報源から取得した情報に基づいて作成いたしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本資料の内容につきましては、お客様のご判断に基づき、ご利用いただけますようお願いいたします。なお、本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできませんので、お客様限りとしてご利用ください。

(出所) エコノミストおよびユーガブより大和証券作成

2020年米大統領選挙の筆者予想（2020/5/20作成）

トランプ候補		バイデン候補
筆者予想獲得選挙人249名	デフハスシの可能性	筆者予想獲得選挙人289名
アラスカ州 (3)	←	アリゾナ州 (11)
アラバマ州 (9)		カリフォルニア州 (55)
アーカンソー州 (6)		コロラド州 (9)
フロリダ州 (29)	→	コネチカット州 (7)
ジョージア州 (16)		コロンビア特別区 (3)
アイオワ州 (6)		デラウェア州 (3)
アイダホ州 (4)		ハワイ州 (4)
インディアナ州 (11)		イリノイ州 (20)
カンザス州 (6)		マサチューセッツ州 (11)
ケンタッキー州 (8)		メリーランド州 (10)
ルイジアナ州 (8)		メイン州CD (1)
メイン州CD (1)		メイン州 (2)
ミズーリ州 (10)		ミシガン州 (16)
ミシシッピ州 (6)		ミネソタ州 (10)
モンタナ州 (3)		ニューハンプシャー州 (4)
ノースカロライナ州 (15)		ニュージャージー州 (14)
ノースダコタ州 (3)		ニューメキシコ州 (5)
ネブラスカ州 (4)		ネバダ州 (6)
ネブラスカ州CD (1)		ニューヨーク州 (29)
オハイオ州 (18)		オレゴン州 (7)
オクラホマ州 (7)		ペンシルバニア州 (20)
サウスカロライナ州 (9)		ロードアイランド州 (4)
サウスダコタ州 (3)		バージニア州 (13)
テネシー州 (11)		バーモント州 (3)
テキサス州 (38)		ワシントン州 (12)
ユタ州 (6)	←	ウィスコンシン州 (10)
ウェストバージニア州 (5)		
ワイオミング州 (3)		

今泉の予想

バイデン候補勝利

過半数である270名の選挙人を獲得する必要

「270」という数字を
忘れないでください

(注)

	米共和党の支持基盤がかなり強い州
	米共和党の支持基盤が強いと思われる州
	米民主党の支持基盤がかなり強い州
	米民主党の支持基盤が強いと思われる州
	スイング・ステート(民主・共和両党とも支持基盤が盤石とはいえず、浮動票が多い州。激戦が展開されることが多い)

米大統領選注目州…ミシガン州（筆者はトランプ敗北予想）

大豆を200万トン以上生産、ビッグ3本拠地デトロイトがある
 2016年得票率 **トランプ氏47.3%** クリントン氏47.0%

ミシガン州 筆者はバイデン勝利予想（2018年11月から）

調査会社	調査期間	サンプル数	MoE	バイデン(%)	トランプ(%)	支持率差(%)
RCP Average	6/8 - 6/28	--	--	48.0	40.5	Biden +7.5
CNBC/Change Research (D)	6/26 - 6/28	--	--	48	43	Biden +5
Trafalgar Group (R)	6/16 - 6/18	1101 LV	3	46	45	Biden +1
CNBC/Change Research (D)	6/10 - 6/12	LV	--	47	45	Biden +2
NYT/Siena	6/8 - 6/17	610 RV	4.3	47	36	Biden +11
TIPP	6/9 - 6/12	859 LV	--	51	38	Biden +13
EPIC-MRA	5/31 - 6/4	600 LV	4	55	39	Biden +16
EPIC-MRA	5/30 - 6/3	600 LV	4	53	41	Biden +12
CNBC/Change Research (D)	5/29 - 5/31	620 LV	--	48	46	Biden +2
Change Research (D)	5/11 - 5/17	3070 LV	1.9	49	46	Biden +3

米大統領選注目州…ペンシルベニア州（筆者はトランプ敗北予想）

鉄鋼の町ピッツバーグやフィラデルフィアがあり、炭鉱もある。
 2016年得票率 **トランプ氏48.2%** クリントン氏47.5%

ペンシルベニア州 筆者はバイデン勝利予想（2018年11月から）

調査会社	調査期間	サンプル数	MoE	バイデン(%)	トランプ(%)	支持率差(%)
RCP Average	6/8 - 6/28	--	--	48.7	41.7	Biden +7.0
CNBC/Change Research (D)	6/26 - 6/28	LV	--	50	44	Biden +6
Susquehanna	6/15 - 6/23	715 LV	3.8	46	41	Biden +5
CNBC/Change Research (D)	6/10 - 6/12	LV	--	49	46	Biden +3
NYT/Siena	6/8 - 6/16	651 RV	4.2	50	40	Biden +10
CNBC/Change Research (D)	5/29 - 5/31	579 LV	--	46	50	Trump +4
Harper (R)	4/21 - 4/26	644 LV	3.9	49	43	Biden +6
FOX News	4/18 - 4/21	803 RV	3.5	50	42	Biden +8
Susquehanna	4/14 - 4/20	693 LV	3.7	48	42	Biden +6

米大統領選注目州…ウィスコンシン州（筆者はトランプ敗北予想）

カリフォルニアに次ぐ酪農州。トウモロコシ生産は全米10位前後。
2016年得票率 **トランプ氏47.2%** クリントン氏46.5%

米農家の破綻件数は2020年3月までの1年間で23%増（3月までAFBFのデータ集計で）
ウィスコンシン州での破綻申請件数が最も多く、米中西部地区は破綻申請が最も多い地区

ウィスコンシン州 筆者はバイデン勝利予想（2018年11月から）

調査会社	調査期間	サンプル数	MoE	バイデン(%)	トランプ(%)	支持率差(%)
RCP Average	6/8 - 6/28	--	--	48.5	42	Biden +6.5
CNBC/Change Research (D)	6/26 - 6/28	--	--	51	43	Biden +8
Trafalgar Group (R)	6/23 - 6/25	1021 LV	3	45	46	Trump +1
Marquette	6/14 - 6/18	805 RV	4.3	49	41	Biden +8
CNBC/Change Research (D)	6/10 - 6/12	LV	--	48	44	Biden +4
NYT/Siena	6/8 - 6/15	655 RV	4.3	49	38	Biden +11
FOX News	5/30 - 6/2	801 RV	3.5	49	40	Biden +9
CNBC/Change Research (D)	5/29 - 5/31	382 LV	--	45	45	Tie
Marquette	5/3 - 5/7	811 RV	4	46	43	Biden +3

米大統領選注目州…ノースカロライナ州（筆者はトランプ勝利予想）

ノースカロライナ州にとって日本は、最大級の輸出相手国。
 350社の自動車関連企業で5万人が働き、そのうち日本企業は30社強、従業員は7500人
 2016年得票率 **トランプ氏49.9%** クリントン氏46.5%

ノースカロライナ州 筆者はトランプ勝利予想（5/1段階で）

調査会社	調査期間	サンプル数	MoE	トランプ(%)	バイデン(%)	支持率差(%)
RCP Average	6/8 - 6/28	--	--	44.2	47.2	Biden +3.0
CNBC/Change Research (D)	6/26 - 6/28	--	--	44	51	Biden +7
East Carolina U.	6/22 - 6/25	1149 RV	3.4	44	45	Biden +1
FOX News	6/20 - 6/23	1012 RV	3	45	47	Biden +2
PPP (D)	6/22 - 6/23	1230 RV	2.9	46	48	Biden +2
Gravis	6/17 - 6/17	631 RV	3.9	46	43	Trump +3
NYT/Siena	6/8 - 6/18	653 RV	4.1	40	49	Biden +9
CNBC/Change Research (D)	6/10 - 6/12	LV	--	45	47	Biden +2
PPP (D)	6/2 - 6/3	949 RV	3.2	45	49	Biden +4
CNBC/Change Research (D)	5/29 - 5/31	806 LV	--	45	46	Biden +1
Civitas/Harper (R)	5/26 - 5/28	500 LV	4.4	47	44	Trump +3

その他注目スイング・ステート 温暖化問題はトランプに致命傷

フロリダ州有権者の72%が**温暖化**を懸念・・・そのまま反トランプの動きへ
ハリケーンにより、壊滅的な被害を受けたまま**復興が進んでいない地域**は、反トランプへ
毎週金曜、学生たちが自発的に集まり、大統領に**温暖化対策**を求めるデモが続いている。

フロリダ州 筆者はトランプ勝利予想 (5/1段階で)

調査会社	調査期間	サンプル数	MoE	バイデン(%)	トランプ(%)	支持率差(%)
RCP Average	5/26 - 6/28	--	--	49.0	42.6	Biden +6.4
CNBC/Change Research (D)	6/26 - 6/28	--	--	50	45	Biden +5
FOX News	6/20 - 6/23	1010 RV	3	49	40	Biden +9
NYT/Siena	6/8 - 6/18	651 RV	4.6	47	41	Biden +6
CNBC/Change Research (D)	6/10 - 6/12	LV	--	50	43	Biden +7
TIPP	6/9 - 6/12	875 LV	--	51	40	Biden +11
CNBC/Change Research (D)	5/29 - 5/31	1186 LV	--	48	45	Biden +3
St. Pete Polls	5/26 - 5/27	4763 RV	1.4	48	47	Biden +1

***米共和党全国委:フロリダ州ジャクソンビルで党大会を開催(8/24-8/27)**

環境少女グレタ・トゥンベリさんがカギを握る?(^^)

本資料は、当社が信頼できると判断した情報源から取得した情報に基づいて作成したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。本資料の内容につきましては、お客様のご判断に基づき、ご利用いただけますようお願いいたします。なお、本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできませんので、お客様限りとしてご利用ください。

大型ハリケーン襲来はパリ協定を離脱したトランプ大統領に不利

★5月28日：トランプ大統領

「今シーズンは6～10のハリケーンが襲来するであろう」

★ペンス副大統領

「今シーズンは例年以上のハリケーンが襲来するであろう」

★壊滅的被害を受けた地区ではタイニーハウスが人気(家ごと避難)



米共和党の支持基盤が強い「赤の州」アリゾナ州でも異変？

(筆者はトランプ敗北予想)

2018年米中間選挙で、民主党は1994年以降で初めてアリゾナ州の連邦上院議員の座を奪還

かつてはサンベルトの一角として発展。現在はハイテク産業の一大拠点で、カリフォルニア州からの企業流入が著しい。また、人口増も著しい。

アリゾナ州 筆者はトランプ敗北予想（5/1段階で）

調査会社	調査期間	サンプル数	MoE	バイデン(%)	トランプ(%)	支持率差(%)
RCP Average	5/30 - 6/28	--	--	48.3	42.3	Biden +6.0
CNBC/Change Research (D)	6/26 - 6/28	--	--	51	44	Biden +7
CNBC/Change Research (D)	6/10 - 6/12	LV	--	45	44	Biden +1
NYT/Siena	6/8 - 6/16	650 RV	4.3	48	41	Biden +7
FOX News	5/30 - 6/2	1002 RV	3	46	42	Biden +4
CNBC/Change Research (D)	5/29 - 5/31	329 LV	--	44	45	Trump +1
Predictive Insights	5/9 - 5/11	600 LV	4	50	43	Biden +7
Predictive Insights	4/7 - 4/8	600 LV	4	52	43	Biden +9

アリゾナ州はもう一つの戦い（上院選）も注目だ

2018年米中間選挙で、民主党は1994年以降で初めてアリゾナ州の連邦上院議員の座を奪還

その時敗北した共和党のマクスリー女史は、マケイン上院議員（共和党）が死亡したのちに、後任上院議員に指名された（当初指名されたジョン・カイル氏が途中辞任したため）。

マクスリー氏は赤の州の現職上院議員であるにもかかわらず、下記世論調査結果だ。

アリゾナ州上院選世論調査（現職：共和党マクスリー）

調査会社	調査期間	Sample	MoE	Kelly (D)	McSally (R)	Spread
RCP Average	5/30 - 6/28	--	--	50	39.7	Kelly +10.3
CNBC/Change Research (D)	6/26 - 6/28	--	--	53	44	Kelly +9
NYT/Siena	6/8 - 6/16	650 RV	4.3	47	38	Kelly +9
FOX News	5/30 - 6/2	1002 RV	3	50	37	Kelly +13
Predictive Insights	5/9 - 5/11	600 LV	4	51	38	Kelly +13
Predictive Insights	4/7 - 4/8	600 LV	4	51	42	Kelly +9
Monmouth	3/11 - 3/14	847 RV	3.4	50	44	Kelly +6
Univision/ASU	3/6 - 3/11	1036 RV	3	48	36	Kelly +12

米共和党の支持基盤が強い「赤の州」テキサス州でもまさかの異変？

テキサス州 筆者はトランプ勝利予想

但し僅差

調査会社	調査期間	サンプル数	MoE	トランプ(%)	バイデン(%)	支持率差(%)
RCP Average	5/8 - 6/23	--	--	45	43	Trump +2.0
FOX News	6/20 - 6/23	1001 RV	3	44	45	Biden +1
Quinnipiac	5/28 - 6/1	1166 RV	2.9	44	43	Trump +1
Emerson	5/8 - 5/10	800 RV	3.4	47	41	Trump +6
PPP (D)	4/27 - 4/28	1032 RV	--	46	47	Biden +1
DMN	4/18 - 4/27	1183 RV	2.9	43	43	Tie
UT/ TX Tribune	4/10 - 4/19	1200 RV	2.8	49	44	Trump +5
NBC/Marist	2/23 - 2/27	2409 RV	2.5	49	45	Trump +4
CNN	2/22 - 2/26	1003 RV	3	47	48	Biden +1
DMN	2/17 - 2/26	1221 RV	2.8	45	44	Trump +1
UT/ TX Tribune	1/31 - 2/9	1200 RV	2.8	47	43	Trump +4
DMN	1/21 - 1/30	915 LV	3.2	46	44	Trump +2
Texas Lyceum	1/10 - 1/19	520 LV	4.3	51	46	Trump +5

「赤の州」の代名詞テキサス州は「青の州」になってしまうのか？

2018年米中間選挙の上院選 **(僅差)**

共和党 テッド・クルーズ (50.9%)

民主党 ベト・オルーク (48.3%)

2018年米中間選挙の下院選

共和党は2議席落とした

(共和党23 民主党13)

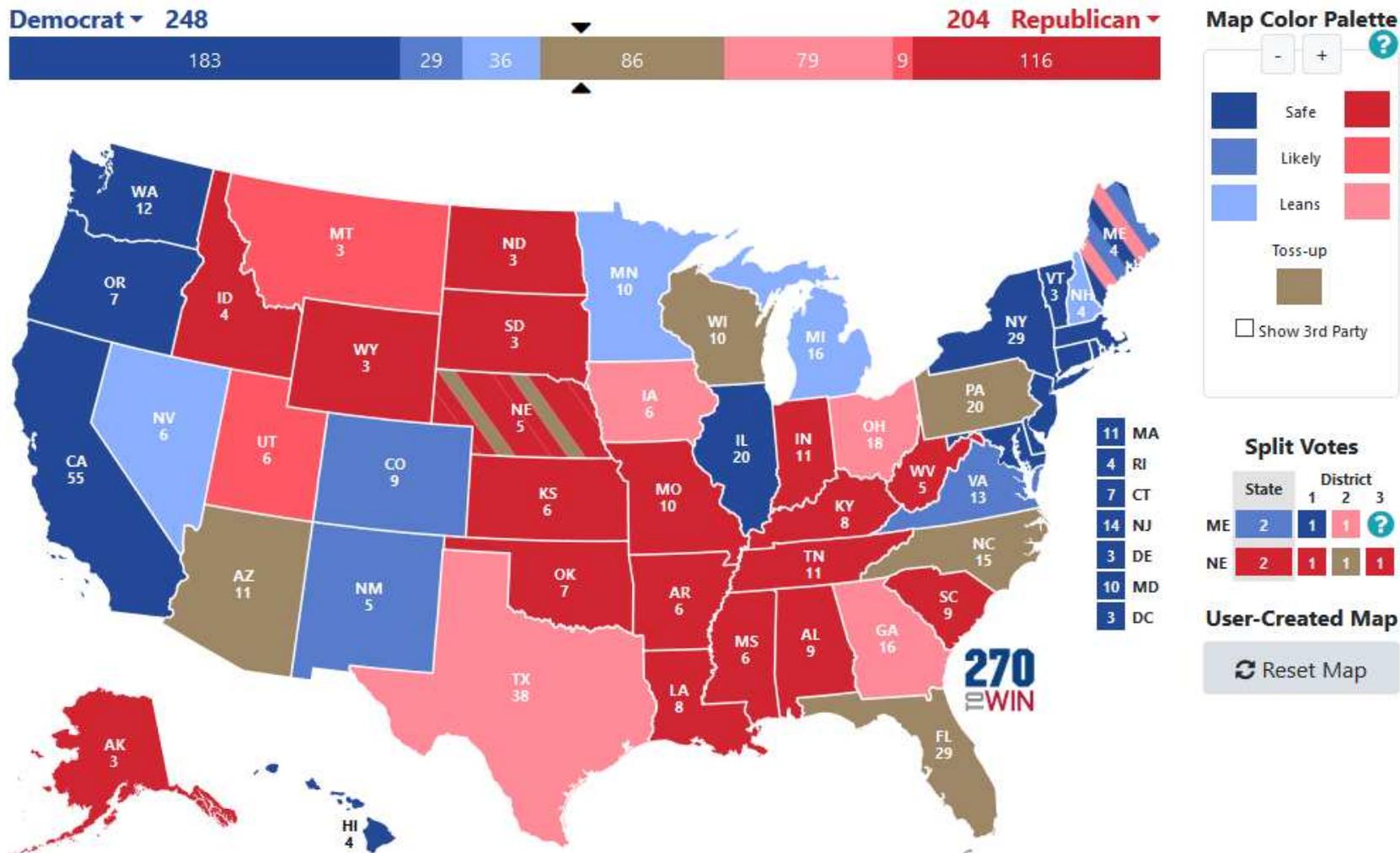
テキサス州におけるヒスパニック人口の割合は**37.6%** (全国比17.1%) で、増加率が高い。ヒスパニックが州最大の民族集団となる日も近い。ヒスパニックは民主党に投票する割合が高い。(参考までに、白人(非ヒスパニック系白人)の割合は45.3%)

テキサス州にとってメキシコ・カナダとの貿易は非常に重要であり、**トランプ大統領のNAFTA批判がトランプ離れを誘発した。**

ハイテク企業のテキサス州への移転が増えている。ハイテク関連の高学歴の米国人はリベラルであることが多く、民主党寄りである場合が多い。

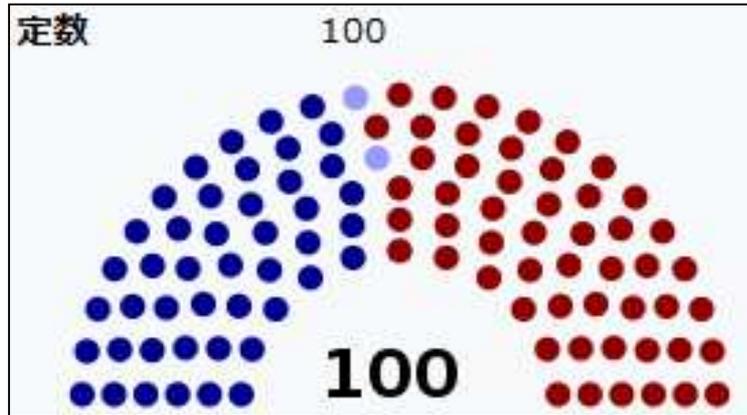
2020年米大統領選の星取表（6/25月現在）

過半数である270名の選挙人を獲得する必要



2020年米上院選で、米民主党は過半数を奪還できるか？ 微妙

現在の米上院勢力図は



- 共和党53議席
- 民主党45議席
- 民主党系無所属2議席

2020年改選

共和党23議席（内2議席は補欠選挙）
（3議員が不出馬表明）

民主党12議席
（1議員が不出馬表明）

注目州は以下の5州

民主党が奪還する可能性がある州

アリゾナ州（現職マーサ・マクスアリー）

コロラド州（現職コリー・ガードナー）

メイン州（現職スーザン・コリンズ）

ノースカロライナ州（現職トム・ティリス）

共和党が奪還する可能性が高い州

アラバマ州（現職ダグ・ジョーンズ）

為替相場を動かす3本のベクトル

投機（コメンテーターバイアス）を無視して為替相場は語れない時代

1、ファンダメンタルズのベクトル

金利差、通貨供給量、景況感格差、格付け etc.

2、需給のベクトル

貿易収支、経常収支、対外直接投資（M&A等） etc.

3、TVコメンテーターのベクトル

円高論者が多いか？（2018～2019年は円高論者多数）
（2020年3月以降は円高論者多数）

円安論者が多いか？（2013～2014年は円安論者多数）
（10人中9人が間違っている、9人が思った方向へ相場は動いてしまう）

投機を語らずして為替相場は語れない時代

- 日本の為替証拠金取引の年間取引高は4000兆円を
超えるそうです。
- **1営業日当たり**の平均取引高は約15兆円強になります。
- 当然、激しく動く日の取引高は多くなり、閑散な日は少なくなると思われます。
- TVを見て「円高かぁ」と信じてドル/円を売る人が平均15兆円/日の3分の1いるだけでも相場は動きます。
- 円高論者が多いか円安論者が多いかは、非常に重要
です。

市場の勘違いに一言・・・「リスクオフ」は「リスクオン」

投機を馬鹿にしていたら、為替は語れません。最初は投機が相場を作って、その相場にコメンテーターがあとづけ解釈をして、それをみんなが信じてしまうからです。

円高論者TVコメンテーターが言う「リスクオフ」は投機の「リスクオン、リスクテイク」。

「リスクオフ」とは“Risk Off”

投資家がリスクを回避するために、より安全な資産に資金を移動する傾向にある市場の状況 (出所) goo辞書より

TVコメンテーターの「リスクオフ」は
投機筋の「リスクオン」



(筆者の持論)

「リスクオフ」とはもともと、取っているリスクを止めること。

しかし、いまの「リスクオフ」は、もともとリスクを取っていなくても、「リスクオフ相場（円高、金利低下、株式下落）」にポジションを取って「リスクオン」する投機筋・短期筋・デイトレーダー・A.I.・TVっ子ジョバーが大半と思われる。

「リスクオフ」に「リスクオン」する投機筋は、最終的には反対売買をして益（損）を確定させなくてははいけない。つまり、投機連中が売れば売るだけ買い戻し玉は増えて、下がらなくなると思う。

お口直しの余談の時間 (今泉はCOVID-19にはならなかったのに・・・)

みなさまは

COVID-19

(コヴィッド・ナインティーン)

をご存じですか？



新型コロナウイルス 感染症の正式名称です

(ウィルス名はSARS-CoV-2)

みなさまは

COVID-15

(コヴィッド・フィフティーン)

をご存じですか？



(6月30日付米WSJ紙より)

今春の外出自粛中、スウェットを着たまま家で過ごし、バナナブレッドのレシピに磨きをかけたり、新型コロナのパンデミックから来る「ストレス過食」にふけったりする人が多かった。

彼らの大半は**新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) を免れたものの、「COVID 15」からは逃れられなかった**——自粛生活で体重が増え (15ポンド=約6.8キログラム)、ロックダウン (都市封鎖) が解除される頃には、日常着がゆったりした服に変わっていることをこう呼ぶ。

グーグル・トレンドのデータによるとここ数週間、グーグル検索で**「ウエストがゴム」**というワードが急上昇。

開示事項

【利益相反関係の可能性について】

大和証券は、このレポートに記載された会社に対し、投資銀行業務に係るサービスの提供、その他の取引等を行っている、または行う場合があります。そのような場合には、大和証券に利益相反が生じる可能性があります。

【当社及び大和証券グループについて】

大和証券は、(株)大和証券グループ本社の子会社です。

【その他の留意事項】

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので、投資勧誘を意図するものではありません。投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。レポートに記載された内容等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。内容に関する一切の権利は大和証券にあります。事前の了承なく複製または転送等を行わないようお願いします。

【個別銘柄に関するその他の開示事項】

1) 2016年4月26日、大和証券(「当社」)及び当社の親会社である株式会社大和証券グループ本社(以下、大和証券グループ本社)とGMOフィナンシャルホールディングス株式会社(以下、GMOフィナンシャルHD)及び同社子会社のGMOクリック証券株式会社(以下、GMOクリック証券)は、4社の間で、業務提携に関する基本合意書を締結しました。

大和証券グループ本社は、GMOフィナンシャルHD株式の発行済株式総数の約9.3%を保有しています(2017年12月末時点)が、大和証券グループ本社は、業務提携の進捗および成果等を踏まえ、将来的にはGMOフィナンシャルHD株式を本件取得との合計で発行済株式総数の20%を目途に追加取得する可能性があります。

2) 下記の不動産投資信託の資産運用会社である大和リアル・エステート・アセット・マネジメント株式会社は、大和証券グループ本社の子会社です。大和証券オフィス投資法人(8976)、日本ヘルスケア投資法人(3308)、日本賃貸住宅投資法人(8986)。

3) サムティ・レジデンシャル投資法人は2019年9月10日付で株式会社大和証券グループ本社の連結子会社となりました。

4) 株式会社大和証券グループ本社は、2019年5月30日付でサムティ株式会社と資本業務提携契約を締結し、2019年6月14日時点でサムティ株式会社の発行済株式総数の16.95%及び新株予約権付社債(額面100億円)を保有しています。当該新株予約権がすべて行使された場合、保有割合は27.28%になります。

5) 大和証券グループ本社とクレディセゾンは、2019年9月5日付で資本業務提携契約を締結しました。大和証券グループ本社は、クレディセゾンの普通株式について、2019年7月31日現在の発行済株式総数(自己株式を除く)の5.01%を上限に取得する予定です。

6) N E C (6701) : 米国のお客様への告知事項

本レポートは、米国のお客様への配布や米国のお客様による利用を目的としたものではありません。日本電気株式会社が発行する証券は、米国証券取引委員会(SEC)の2008年6月17日付命令により、米国1934年証券取引所法第12(j)条に基づき、米国内での登録が停止されております。米国内のいかなる個人又は法人が利用した場合においても、本レポートは、米国のお客様に対して日本電気株式会社が発行する証券の買付又は売却を推奨、勧誘するものではありません。大和証券(株)は、米国のお客様に対して本レポートの内容についての一切の責任を負いません。本レポートを入手された米国のお客様におきましては、本レポートをご参考になさらないよう、お願い致します。

【お取引にあたっての手数料等およびリスクについて】

手数料等およびリスクについて

・株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.26500%（但し、最低2,750円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大0.99000%の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。

・株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。

・信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

・債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。

・投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された購入時手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

・取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。

・外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会